National Institute of Technology Fukui College
Since 1965 Creativity and Curiosity
福井高専

青武台だより

平成30年
4月5日発行
NO.216

独立行政法人国立高等専門学校機構 福井工業高等専門学校
National Institute of Technology,Fukui College



Photo / 日野の桜

CONTENTS

P2 ▶ 新年度を迎えて
P5 ▶ 学年初めにあたって
P6 ▶ 専攻主任の言葉
P7 ▶ クラス担任の言葉
P9 ▶ 平成29年度第3回学生表彰受賞者
P10▶ 部・同好会の紹介
P11▶ 各種コンテスト、中学校だより
P12▶ 平成30年度行事予定表

Special Interview

先生方からのメッセージ

～ 新年度を迎えて～



入学おめでとう

校長 松田 理

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。

福井高専は1965年に創立され、研究者としても名が通っている教職員が教育・指導する、大学と同じ高等教育機関です。既に、卒業生・修了生は8300名を超え、産業界をはじめ様々な分野で活躍し国内外から高く評価されています。これからも皆さんの未来に責任をもって技術者教育を進めていきたいと考えています。

さて、難関を乗り越えた皆さんは、いま期待と不安が胸を過っていることと思いますが、この伝統ある福井高専で学ぶ心構えについて述べます。

まず第1に、「学生の本分は学業である」ことを忘れないで下さい。それも自学自習の習慣を身につけることに価値を見出して欲しいのです。教育を受ける「生徒」ではなく、自ら学問を修める「学生」としての自覚を持ち、主体的に考え、行動して下さい。友達を作りグループで学び合うことも必要です。他人との交友により様々な見方や考え方を知り、ひとりよがりに陥ることなく視野を拡げることができます。是非、目の前の課題に全力で取り組んで下さい。そのための設備は十分揃っていますし、指導者も多くいます。そして、その際に教科書で学ぶ知識だけでなく、学んだ知識を活用し課題解決にむけて行動する力、即ち、やり抜く力や意欲、リーダーシップ等を身につけて下さい。最近のある調査で、新入社員の5割近くが二年目で既に転職志向にあり、その4割強が自分の役割を果たせなくなったと感じているそうです。その主要因が、専門知識の不足でなく意欲が低下し消極的になってしまうとのことです。何かをやり遂げるためには、どんな困難にも耐え得る根性や忍耐力、立ち向かう意欲や情熱、並びに協調性といった能力が大きく関わると言えます。これらは生まれながらの才能でなく、学習によって身につけることができ、皆さんは正にその適齢期にあります。是非、本校でこれらを培って下さい。

青年期は人生にとって非常に大切な時期であり、高専での過ごし方が将来に繋がっていくことを十分認識してください。参考までに、インドの政治家であり思想家マハトマ・ガンジーの言葉を紹介しておきます。

Live as if you were to die tomorrow.

Learn as if you were to live forever.

第2には、「自分自身を律する」ことを求めます。即ち、何が正しいのか、何が間違っているのかを社会規範に従って考えて欲しいのです。本校は、学生の自主性を重んじるあまり、かなり自由な雰囲気を感じるかもしれません。しかし、自由には責任と義務が伴います。どんな状況においても、社会を構成する一員として、しっかり自分の考えを持ち、規律正しい生活を送ってください。

また、現代は様々な情報で溢れ、発信者に都合の良いもの、勝手に選別されたものなど、確かな情報とそうでないものが混在しています。従って、真実が見え難く、時にはその情報をめぐって友達と対立が生まれ、人間関係が壊れてしまうこともあります。今や生活に欠かせなくなっている会員制交流サイト等でも心して対応すべきでしょう。

これからの高専生活では、苦しいこともあるでしょうが、「艱難汝を玉にす」との言葉もあります。決して挫けず、諦めず、夢の実現に向けて努力し、それぞれの才能を開花させて下さい。教職員一同応援しています。

Special Interview

先生方からのメッセージ

～ 新年度を迎えて～



教務主事 **阿部 孝弘**

知識と正直と親切

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。希望と不安が入り混じっていると思いますが、福井高専は皆さんを心から歓迎します。皆さんの夢をかなえるための良いスタートを切ってください。また、在校生の皆さんは、暖かく新入生を迎え入れるとともに、自分の目標に向かっての日々の努力を継続してください。

私は環境都市工学科でコンクリート構造学を教えています。皆さんは知っていると思いますが、コンクリートはセメントと水と砂利と砂を混ぜると、セメントと水との化学反応によってできた水和生成物によって固まります。皆さんの周りにある橋やビルはコンクリートで作られていますから、コンクリートがなければ今の都市の繁栄はありません。

さて、我が国のコンクリート工学の先駆者として吉田徳次郎博士(1888-1960)がいます。博士は、良いコンクリートを作るには、セメント、水、砂利、砂に加えて「知識」と「正直」と「親切」を混ぜ合わせなければならないと言われました。

「知識」と「正直」と「親切」はコンクリートに限らず、ものを作るときに技術者がその製品に注ぎ込まなければならないものだと思います。技術革新には知識と経験が必要です。本校ではその知識と経験は積めます。そして、不正を行わず、人のためになる行動をするという技術者の使命を常に念頭において、福井高専での学生生活を過ごしてください。



学生主事 **辻子 裕二**

新年度を迎えて

新たに本科生及び専攻科生を迎え、活気に満ちた新年度がスタートしました。この時期に持つ高い意識を末永く堅持されるよう強く期待します。

さて、諸君は個々に新たな目標を掲げ、その達成を目指し階段を上っていくことと思います。ただし、その過程で様々な障壁に直面し、時にダメージを負うことも想定されます。ここでは、困難を粘り強く克服するレジリエンスを持つコツをお話しします。

ある研究者によれば、ダメージは予測の可否によりstressとshockに分類されるとのことです。予測可能なstressの上に突然shockが覆い被さることで顕著なダメージとして顕在化するとの捉え方です。つまり、比較的予測が容易なstressに対し平時より“備える”ことでshock時のダメージを軽減することが可能と換言できます。

学業も同じです。何等かのshockで十分に時間を確保できない事態に備え、前向きなstressを自ら律して平時より与えることが大切です。重要な点は、その階段をリスクの高いジャンプで上るのはなく、一段ずつ堅実に上る“地道さ”です。されば、地震のようなネガティブなshockではなく、あなたの人生を豊かにする素敵なshockに巡り合うかも知れません。

ただし、時に階段の踊り場で息を整える勇気も持ち合わせてください。

Special Interview

先生方からのメッセージ

～ 新年度を迎えて～



寮務主事 **原口 治**

新入生の皆さん、「寮生」の存在を知ってください

平成30年度新入学生の皆さんを福井高専にお迎えすることを大変嬉しく思います。生徒ではなく「学生」と呼ばれることに誇りを持ち、卒業までの5年間で先輩と同じく見事に大成して下さい。当然ながら、そのための支援は惜しみません。

皆さんはこれからの高専生活において、「学生」の他に「寮生」という言葉をよく耳にするだろう、と思います。

本校敷地内には『青武寮』と命名された学生寮があり、自宅からの通学が困難な学生を中心に、200名余りの寮生が共同生活を行なっています。新入生の皆さん、ぜひ「寮生」の存在を知ってください。

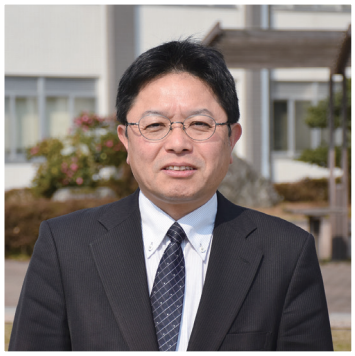
15歳から単身で生活することには不安や困難がつきものです。しかし、年齢、性別、出身等の異なる寮生が衣食住を共にする中で、様々なコミュニケーションを通し共同生活を維持していく作業はとても崇高です。日々同じことの積み重ねが大切なのです。寮生活により、現代社会で強く求められるグループでの問題解決能力を習得できる、と私は確信しております。寮生が通学生にも良い影響を与え、福井高専学生全体の資質向上に寄与してくれることが、私の抱く理想です。

また、アジア各国からの外国人留学生も在籍し、グローバル・エンジニア育成に資する環境も備わっています。短期留学生が一時的に在寮することもあります。時には日本語でもいいから、留学生に話しかけてみてはどうでしょう。

寮担当教職員（寮務主事団）では、本校卒業生も活躍しています。また、宿日直等の指導には、大多数の教職員が従事します。寮生の皆さん、まずは安心してください。

末筆ながら、新入生保護者各位に、お子様のご入学を心よりお祝い申し上げます。今後共、『青武寮』運営に格別のご協力を賜りますよう、どうぞ宜しくお願いいたします。

＊福井高専『青武寮』HP：
http://www.fukui-nct.ac.jp/~ryomu/saito/TOP.html



専攻科長 **藤田 克志**

新年度を迎えてーものと人への観察力

専攻科の授業で「創造デザイン演習」というPBL型の科目を他の先生方と一緒に担当しています。その関係で先日「エンジニアリング・デザイン教育」の研修を受けてきました。その研修では「デザイン思考」ということばがキーワードとなっていました。

研修を受けて、今や大学といえどもPBL型の授業は当たり前に行われ、その効果に高い評価を与える大学の先生もあらわれている、ということに時代の流れを感じました。ただ、不満なのはアメリカの大学で行われているPBL教育を日本に移し替えた、という説明に聞こえたことです。しかし、この研修で強調されていたのは、エンジニアリング・デザイン教育を通じて、学生にものと人に対する興味を持ってもらうような観察力を第一に育成したい、という考え方で、これには共感を覚えました。

専攻科では、PBL型のグループ学習も多く用意されています。専攻科の学生諸君は、自分の考えを固定化せず、常に視野を広く持ってこのような授業に自ら積極的に取り組み、人を大切にする人間となって欲しいと思っています。

Special Interview

先生方からのメッセージ

～ 学年初めにあたって ～



図書館長 **中村 吉秀**

想像力を養う虚構

学校図書館は、勉強したり勉強に必要な調べ物をしたりする場所、というイメージが強くあります。それは間違っていないのですが、心静かに過ごす場所、ひと息つける場所としても活用してください。

これから徐々に大人の社会に踏み入れていく皆さんにとって、勉強や仕事でつらいことや悲しいことに数多く出会うはずですが、大人の感情というのは、単純ではありません。笑顔で明るくふるまっている人が、心に苦しみを宿していないとは限りません。苦しい表情で黙々と努力する人が、幸せでないわけではありません。

こうした感情の機微は、小説はもちろんですが、むしろそれよりも、映画やアニメなどの映像作品に没入することでこそ学べるものです。

図書館には、本だけでなく、CD、DVDといった媒体も置いています。パソコンも設置しているので、これを使ってさまざまな動画などを観ることも可能です。

勉強だけでなく、心を豊かにする場としても、図書館を活用するとともに、図書館以外の場所でもさまざまなメディアに親しんでくれることを、期待しています。



学生相談室長 **中谷 実伸**

学年初めにあたって

新入生の皆さん。ご入学おめでとうございます。

新しい環境に飛び込んだ今、おそらく戸惑いを抱えつつも、期待に胸を膨らませているのではないかと思います。

高等専門学校（高専）という学校は、これまで皆さんが経験してきた小学校や中学校とはいろいろな面で異なります。授業時間は90分という長さですし、授業内容も多岐に亘り、その難易度はこれまでとは比べものになりません。友達や先輩も大きく変化します。そして何より、実は皆さんが大きく変化（成長）する場所でもあります。10代後半の5年間は、皆さんが心身ともに大きく成長をする期間なのです。

皆さんの高専生活をより充実した時間にするために、心身のサポートとして存在するのが、学生相談室と保健室です。学生食堂や売店のある建物の2階に、学生相談室と保健室はあります。学生相談室には専門のカウンセラーの先生と相談室員が、保健室には看護師さんがいます。

新しい環境でストレスを感じたとき、勉強がわからなくて困ったとき、人間関係や自分自身のことで悩んだとき。なんでも結構です。いつでも気軽に、学生相談室と保健室まで訪ねて来てください。

Special Interview

先生方からのメッセージ

～ 専攻主任の言葉～



生産システム工学専攻主任 **斉藤 徹**

生産技術を学科の枠を越えて学ぼう

本科の5年を終え専攻科に進む方は、何を目標にしていますか？

専攻科生の率直な意見をインターネットで探した所、他の高専の専攻科生の記事をみつけました。その方曰くデメリットは「小学校よりも長い7年間でマンネリ感」と書いていました。私自身、教員として出身高専の福井に戻ってきてますから、「それぐらいでマンネリ言うな！」と思う一方、その方は「やりたい目標がある人には最高の場」と書いています。その一言をみたら、なぜだか自分が就職した際の面接で「どういったことが好きですか？」と聞かれ「ものづくりが好き。自分が作ったものが動くことが楽しくて…」と答えたことを思い出しました。

生産システム工学専攻はまさに「生産技術」を機械・電気電子・電子情報の視点で学べる場です。自分の学科の知識だけではマンネリを感じるかもしれません。だからこそ学科の枠を越えた知識を習得し、ものづくりの楽しさを実感する2年間を目指して下さい。



環境システム工学専攻主任 **吉田 雅穂**

時の巡り合わせを利用しよう

専攻科ご入学おめでとうございます。本科5年間の課程を終え、新たな気持ちで本校の門をくぐったことと思います。皆さんご存じのように、今秋、福井しあわせ元気国体が開催されます。また、来年はラグビーワールドカップ日本大会、再来年には東京オリンピックが開催されます。福井国体は実に50年ぶり、東京五輪は56年ぶりの開催です。君たちの年齢ならもう1回チャンスがありそうですが、たとえアスリートとして参加できなくても、ボランティアや観客としてハイレベルのスポーツの祭典を間近で体感してみてください。一方、各企業はこれら大会をビックチャンスと捉えて様々な技術やサービスの革新を生み出そうとしています。都市の利便性や快適性も大きく変わろうとしています。そんな変化を是非、エンジニア目線で観察してみてください。

専攻科には本科にも増して自ら段取りできる時間と自身の経験を高める仕組みがあります。教室や研究室内だけに閉じこもることなく、学外での活動にも精力的に取り組んでください。こんなビッグイベントの開催時期に学生でいることは幸運な巡り合わせです。大きく変わろうとしている福井や日本の姿を注視しながら自分がやりたい目標を設定して行動し、実りある2年間となることを願っています。

Special Interview

先生方からのメッセージ

～ クラス担任の言葉～



F１クラス担任　**宮本 友紀**

オープンユアハート

はじめまして。F1担任の宮本です。今年は1年生の英語の授業を何クラスか担当することになっていますので新入生の皆さんとは密にお付き合いすることになるかと楽しみにしています。

さてこの文章が掲載される頃にはすっかり春で、桜やその他色々な緑や花が芽吹いていることと思います。入学に際して私が新入生の皆さんにお伝えしたいことは、まさにその花々が春に自然と開くように自分の心をオープンにして日々何事も取り組んでいって欲しいなということです。

4月からは新しい環境やクラスメート、先生、勉強内容など、未知の世界に飛び込んでいくのですから、緊張や不安や自信のなさに心揺らぐこともあるのは当然です。ただ、できたらそこでぐっと踏みとどまって、困ったことや辛いこと、どんなに些細でも「あれっ」と違和感を感じることがあれば家族でも友人でも新しい知り合いでも先生でも、心を閉ざさずそのまま伝えてください。もとより心もとないのはお互い様ですから、大丈夫。一緒に楽しく充実した1年にしていきましょう！



F２クラス担任　**山本 裕之**

頭のいい子とは！

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

皆さんはこれからの高専生活に不安でいっぱいのことと思います。特に不安を抱くことは高校と違い、高専では毎年多数の学生が留年しており、自分も5年で卒業できるだろうかと？

日本ではよく知能指数IQが高いと頭がいいと言われている。この指数は言語、空間、記憶、論理など脳の各部位の能力を測定したものです。しかし、この指数が高くても、必ずしも社会的には成功しないのです（この場合の社会的な成功とは、○○長などトップになることではなく、人間関係の豊かな幸福な人生を送れること）。これに対して、欧米では、一般知能（一般流動性知能：gFとか、一般因子：g factorとも言われる）が知能指数として重要視され、学業、仕事、社会生活などと深く関係していると言われている。このgFが高く110以上だと社会的に成功すると、この値が低い75以下だと、例えば高校中退、仕事は長続きせずやめてしまう、貧困生活するなどの確率がかなり高くなり、最悪の場合は犯罪を起こすなどの問題行動を起こすようになる。つまりIQが高くて勉強ができていい高校に入学できても、gFが低いとその高校に適応できず中退する確率が高くなるということです。このgFとは、協調性、持続性、計画性、探求心、やる気、また感情をコントロールする能力などを評価する指数である。これらの能力は脳の前頭連合野の働きであり、さらにこの部位は脳全体の各部位をコントロールするところでもあり、社会性、人間性に非常に大切な働きをしている。例えば、自分は数学があまりできない、運動の能力が低い等々があっても、自分ができる代わりの能力を使って、それをうまくコントロールできることである。その能力をつかさどるのが前頭連合野なのです。ゆえに頭がいいとはこの前頭連合野の働きの良さなのである。

さて、本校での留年の主な原因は、試験はまあまあできるのに課題(レポート)等をほとんど提出しない、夜中のゲーム、SNS、アルバイトなどのため授業中は寝ている（何回注意指導しても）などである。多分、このような学生のgFはかなり低いと思う。つまり前頭連合野の働きが弱く、頭のいい子ではないのである。今年の新入生はみんな頭のいい子であることを切に願う。

最後に下記の4種のアルファベットの配列はgFを測定する問題である。この中に一つだけ異なるものがある。どれですか？

LHEC、DFIM、TQNK、HJMQ

Special Interview

先生方からのメッセージ

～ クラス担任の言葉～



F3クラス担任　**門屋 飛央**

夢を上方修正していこう

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。これからの学生生活を謳歌してください。私は皆さんに、「何者になりたいのか」ということを考えて過ごしてほしいと思います。

皆さんは、少し前まで中学生でした。そして、4月から福井高専生になりました。しかし、入学した今、もはや福井高専生であることに満足してはいけません。現状を経て、次は何者になりたいのか、どうやったらその何者になれるのかを考えながら生活してください。次に目指すものを定め、それに向かって努力しましょう。

もちろん、福井高専生であることに、また何者かになろうとすることに困難を感じることがあるでしょう。その時は、どうぞ周りに助けを求めてください。物事は、一人で成し遂げられることの方が少ないです。私をはじめ教職員、先輩、同級生は、皆さんの力になることを惜しみません。そして、皆さんも、どうか周りを助けてください。

我々は、福井高専という学び舎に集まった仲間です。クラスは、皆さんにとってのホームです。そこは忘れないでいてほしいと思います。仲間どうしで積極的に助け合い、ともに次の「何者」を目指して頑張りましょう。



F4クラス担任　**松井 一洋**

「入学おめでとう」

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。この学校は特別な教育課程で高度な専門技術、専門知識を身につけた人材を育てる、特殊な教育機関です。特別な人材になろうと思った皆さんのその決断に敬意を表します。

将来、技術者になりたい人、研究者になりたい人、他にもそれぞれが思い描く将来に期待を膨らませていると思います。新しい生活、慣れない通学、新しい人間関係、90分授業、聞いたことのない専門用語、特別な環境が皆さんを待っています。まずは目の前のことをこなすことで精一杯かもしれません。でも、実はそれが一番大切だったりもします。目の前を蔑ろにしては、先の見えない道では次の一歩は踏み出せません。助けが欲しいときは、勇気を出して手を挙げてみましょう。その踏み出す一歩に手を添えてくれる先生が、先輩がきっといます。

5年間はあっという間に過ぎていきます。是非、様々なことに挑戦してください。一緒に高専での5年間を充実したものにしましょう。



F5クラス担任　**柳原 祐治**

「焦らず、ゆっくりと歩こう!」

4月に、本校での学校生活の第一歩を踏み出し、さらに数歩、歩いてきた君達は、今、様々なことを感じ、考えているでしょう。

新しい人間関係や学習生活に対して、大きな希望や期待を持っている人がいる一方で、少し戸惑いを感じている人や、ちょっと不安を感じている人、また、自信をなくしかけている人もいるかもしれません。しかし、心配は要りませんし、焦る必要は全くありません。なぜならば、人間は時間と共に変化していくものだからです。

また、若い君達には、これから十分な時間があります。そこで君達に望むことは、「どんなことでもよいので、何かに一生懸命取り組んでみて欲しい」ということです。苦手だと思っている教科も、一生懸命取り組んでみると、そのうち面白く感じてくるかもしれません。苦手に感じている先生やクラスメイトが、そのうち苦手でなくなるかもしれません。

とにかく、結果を気にせず、自分の足で、自分のペースで、焦らずゆっくりと歩いてみて下さい。人と違っても気にしないで下さい。とりあえず歩き始め、歩きながら考え、悩んでみて下さい。その「歩み」そのものを楽しんでみて下さい。

私も、君達それぞれの歩き方を、焦ることなく見つめていきたいと思っています。

平成29年度 第3回 学生表彰受賞者

校長特別賞

環境都市工学科5年 山貫 緋称さん



このたびは、校長特別賞を戴きありがとうございます。5年間勉学に集中できたのは、母のおかげです。母の私に対する教育方針は、「頑張ることは当たり前。結果が全て」です。校長特別賞は、首席卒業の結果とともに、これまでの頑張りを認められたものだと思っています。私は、進学後も努力を続けて結果を出し、自分の希望する進路を選択していきます。

物質工学科5年 増永 遥香さん



この度は校長特別賞をいただき、大変うれしく思います。このような賞がいただけたのも、常日頃丁寧に指導してくださった先生方や、共に学び合った友人、そしていつも様々な面で支えていただいた家族のおかげです。皆様には、感謝の気持ちでいっぱいです。進学先の大学でも校長特別賞の名に恥じぬよう、勉学や研究に精進したいと思います。

環境都市工学科5年 増永 潤紀さん

校長特別賞を頂戴することができ、とても光栄に思います。福井高専の環境都市工学科は、たくさんの学生がより良い成績を取ろうと努力していました。そのため、私も周りの友達に負けないように勉学に勤しむことができました。専攻科に進学後も努力し続け充実した日々を送りたいです。



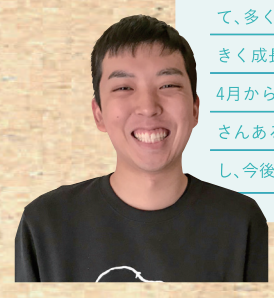
物質工学科5年 木下 明日香さん

校長特別賞を頂けて非常に光栄に思います。中学生の頃は勉強をする習慣が全くありませんでしたが、福井高専に入学してからメリハリをつけて勉強をするときにはしっかり勉強する習慣をつけられて良かったです。この習慣を5年間続けられたのだという誇りをもって社会に出てからもメリハリのある生活を送りたいです。



電気電子工学科5年 西村 流さん

この度、校長特別賞を受賞することができ、大変光栄に思います。福井高専で過ごした5年間は、私にとってかけがえのないものであるといえます。授業はもちろん、様々なイベントや卒業研究などを通して、多くのことを学ぶことができ、また人として大きく成長することができたと実感しています。私は4月から就職しますが、これからも学ぶことはたくさんあると思います。この福井高専での経験を活かし、今後も様々なことを学んでいきたいです。



物質工学科5年 DHYAU AYU PERMATASARIさん

この度は、校長特別賞という栄誉ある賞をいただけたことに驚くこととともに大変嬉しく、また光栄に思っております。これまで私を支えてくださった皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。校長特別賞の受賞を知らせていただいたときは、私のような未熟者が校長特別賞をいただいていいのか、と複雑な思いでしたが、コツコツと勉強を続けた姿勢が少しだけ評価されたのだろうと捉えています。卒業後は大学に進学し福井高専で培った知識や経験を基に新たな課題に積極的に挑戦していきたいと思います。



校長賞

電気電子工学科5年 成田 匡希さん
生産システム工学専攻2年 福嶋 宏之さん
生産システム工学専攻2年 阿路川 雄介さん
生産システム工学専攻2年 松村 修杜さん

SPECIAL 高専特集 INTERVIEW

みんなで高専しよッ！

部・同好会の紹介

部活動として体育部が21、文化部が6、同好会が18あり、幅広い分野で活発な活動が行われています。



体育部 男子バスケットボール部

経験者から未経験者まで一緒に練習し、1～3年生は高校大会に、1～5年生で高専大会や一般大会などに出場しています。全国高専大会出場を目標に練習に励んでいます。

指導教員 松井 一洋、藤田 卓郎、米田 知晃、阿部 孝弘



体育部 女子バレーボール部

先生、先輩、後輩の仲が非常によく、いつも楽しくバレーをしています。全国高専体育大会への出場を目指して、日々練習を続けています。ぜひ一度体育館におこし下さい！

指導教員 山本 裕之、金田 直人



体育部 サッカー部

経験者も初心者も各自が目標を持ち、一人一人が責任感と自立心をもって、魅力のあるチームとなれるよう努力しています。真剣にサッカーに打ち込みたい人を募集しています。

指導教員 長水 壽寛、佐々 和洋



体育部 少林寺拳法部

少林寺拳法部は、昨年度も、インターハイ出場を果たしました。護身の術でもあり、心身とも鍛えられます。初心者から始められ、部員は随時募集しています。

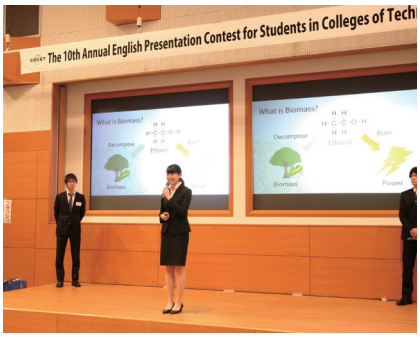
指導教員 川上 由紀、岡本 拓夫、堀井 直宏



文化部 ロボット部

全方位からのものづくり集団です。高専ロボコンが主戦場ですが、それ以外にも色々作ったり、ロボットを使ったデモをやったり、アイデアを形にするための技術研鑽も欠かしません。

指導教員 亀山 建太郎、千徳 英介、村田 知也



文化部 英語部

ネイティブスピーカーとの会話の他にも、DVDや様々な書籍からも楽しく英語のトレーニングを計画しています。また、高専英語プレゼンテーションコンテストでは、2015年度2位、2017年度は最優秀賞を受賞しています。

指導教員 吉田 三郎、原口 治

その他の部・同好会一覧

体育部門

- 陸上
- 卓球
- 女子バスケットボール
- ラグビー
- 野球
- 軟式野球
- 男子バレーボール
- バドミントン
- テニス
- ソフトテニス
- 柔道
- 剣道
- ハンドボール
- 空手
- ソフトボール
- 水泳
- 合気道

文化部門

- モダンミュージック
- 吹奏楽
- エレクトロメーキング
- 囲碁、将棋

同好会

- 天文
- 茶道
- IT研究会プロフォ
- 日本現代視覚文化
- VIP
- サイエンスクラブ
- フットサル
- 放送・メディア研究会
- ダンス
- 音鍵研究会
- Structural Design研究会
- スポーツクライミング
- 写真
- アマチュア無線研究会
- グラフ電卓研究会
- 珈琲
- 空間デザイン研究会
- 小型模擬人工衛星

SPECIAL 高専特集 INTERVIEW

みんなで高専しよッ！

ロボコン 2017



2017年10月15日（日）、三重交通Gスポーツの杜伊勢において、高専ロボコン2017東海北陸地区大会が開催され、本校からは「一貫弓」と「福井一体」の2チームが出場しました。両チームとも最後まで健闘しましたが、残念ながら全国大会出場を逃しました。しかし、「福井一体」はアイデア賞と特別賞を受賞しました。

応援していただきました皆様ありがとうございました。大会の様子は毎年NHKで放映されています。是非ご覧ください。

デザコン 2017



2017年12月2日（土）・3日（日）に岐阜市で「第14回全国高等専門学校デザインコンペティション」が開催されました。本校からはAMデザイン部門 1チーム、構造デザイン部門 2チームが出場しました。構造デザイン部門では、試作品を作っては壊し、改良を加えては壊しを繰り返し行い自分たちの理想のブリッジ「米」、「ガチン橋」を完成させました。「米」は45kgfの荷重に耐えて56チーム中18位、「ガチン橋」は35kgfの荷重に耐えて45位でした。また、AMデザイン部門では、3Dプリンターを利用して、ボタン修理の製品「ボタンのキューピッドちゃん」を提案し審査員にアピールしましたが入賞には至りませんでした。

プレコン 2017



第11回東海北陸地区高等専門学校英語プレゼンテーションコンテストが、2017年11月11日に豊田工業高等専門学校にて開催され、各校代表10名が全国大会出場をかけて競いました。今年はスピーチコンテストからプレゼンテーションスタイルに変更となり、ヘッドセットマイクを付けて、さながらTED Talksのイベントのように生き生きと工夫のなされたプレゼンテーションが展開されました。本校からは物質工学科5年の宮地優彰君が出場しました。残念ながら全国大会出場とはなりませんでしたが、来年の福井大会に向けてのあゆみを進めていきたいと思います。

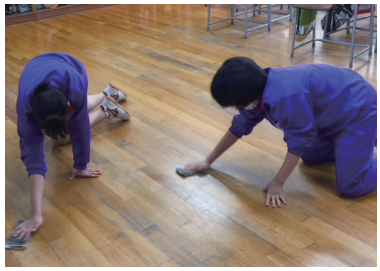
中学校だより

伝統と誇りの角鹿中学校（敦賀市立角鹿中学校）

角鹿中学校は各学年2クラスずつと、敦賀市内でも小規模な中学校です。しかし長年受け継がれてきた伝統はどの学校よりも多く、誇れるものがたくさんあります。本校の三大伝統と呼ばれているものが、以下の3つです。

①「無人購買」。今年度、長年受け継がれてきた記録が連続2000日を突破しました。これは今までの生徒が何年にも渡って続けてきたことであり、信頼の証です。②「フォークダンス」。給食準備時間を利用して体育館に集まり、楽しくフォークダンスを行っています。男女同士も、上級生と下級生同士も、和やかに取り組む中で思いやりの心が育まれています。③「無言清掃」。清掃時間には、一言もしゃべらず、全員が黙々と清掃に取り組み、そのため校内には張りつめた空気がつくられます。膝をついてワイパー拭きをする姿は圧巻です。清掃に一生懸命取り組むことにより、ひたむきさや責任感が身に付いています。

それに加えて今、本校で新しい伝統になりつつあるものが2つあります。一つ目は「チャイム黙想」です。授業開始のチャイムが鳴ると、全員が姿勢を正し、全校で一斉に静かな時間を過ごします。黙想により、休み時間との気持ちの切り替えをし、集中して授業を受けることができています。二つ目は「語先後礼」です。「立ち止まって、挨拶の言葉を発してから礼をする」ということを、ほとんどの生徒が意識して実践しています。これらの誇れる伝統をこれからもさらに発展していけるように、角鹿中の生徒全員で協力していきます。



平成30年度行事予定表 前期

4月

1	日	春季休業(～4日)
2	月	
3	火	
4	水	入寮式(10:30) 新入寮生オリエンテーション(11:00) 開寮
5	木	入学式(10:00) HR(1～3年、11:00) 教育後援会総会(12:00) 教科書販売(2・3年、13:00) 保護者懇談会(13:30)
6	金	一斉健康診断(本科・専攻科) 専攻科オリエンテーション 課題確認テスト HR(4・5年) 教科書販売(4・5年、専攻科、13:00)
7	土	
8	日	
9	月	前期授業開始
10	火	
11	水	(短縮授業) 放課後:新入生歓迎会 クラブ紹介
12	木	
13	金	新入生オリエンテーション合宿
14	土	新入生オリエンテーション合宿
15	日	
16	月	
17	火	
18	水	放課後:校長表彰・校長訓示 学生総会
19	木	
20	金	
21	土	
22	日	
23	月	
24	火	開校記念日
25	水	休講 球技大会
26	木	
27	金	
28	土	閉寮
29	日	昭和の日
30	月	振り替え休日

5月

1	火	一斉休業
2	水	一斉休業
3	木	憲法記念日
4	金	みどりの日
5	土	こどもの日
6	日	開寮
7	月	
8	火	
9	水	授業終了後HR大掃除
10	木	
11	金	(短縮授業) (キャンパスウォーク準備)
12	土	キャンパスウォーク
13	日	
14	月	
15	火	
16	水	
17	木	
18	金	
19	土	舞鶴高専交歓試合
20	日	
21	月	
22	火	
23	水	
24	木	
25	金	
26	土	寮祭 専攻科推薦選抜
27	日	寮祭(予備日)
28	月	
29	火	
30	水	
31	木	

6月

1	金	休業 高校春季総体県予選 大学院研究室訪問(専攻科1年)
2	土	高校春季総体県予選
3	日	高校春季総体県予選
4	月	
5	火	金曜日の授業
6	水	
7	木	前期中間学力確認週間(試験またはまとめ授業) (専攻科予備日)
8	金	前期中間学力確認週間(試験またはまとめ授業)
9	土	
10	日	
11	月	前期中間学力確認週間(試験またはまとめ授業)
12	火	前期中間学力確認週間(試験またはまとめ授業)
13	水	前期中間学力確認週間(試験またはまとめ授業)
14	木	前期中間学力確認週間(試験またはまとめ授業)
15	金	
16	土	
17	日	
18	月	
19	火	
20	水	結団式
21	木	
22	金	
23	土	
24	日	専攻科学力選抜
25	月	
26	火	
27	水	
28	木	
29	金	
30	土	北陸地区高専体育大会 (富山高専:ラグビー、陸上、野球、卓球)

7月

1	日	北陸地区高専体育大会(富山高専:卓球)
2	月	
3	火	
4	水	
5	木	
6	金	
7	土	北陸地区高専体育大会(富山高専) 全国高専サッカー選手権予選北信越大会(福井高専)
8	日	北陸地区高専体育大会(富山高専) 全国高専サッカー選手権予選北信越大会(福井高専)
9	月	
10	火	
11	水	
12	木	在学生保護者対象授業参観
13	金	在学生保護者対象授業参観
14	土	寮生保護者会・保護者懇談会
15	日	
16	月	海の日
17	火	
18	水	
19	木	
20	金	
21	土	(予備日)
22	日	
23	月	
24	火	
25	水	
26	木	
27	金	本科期末試験 専攻科休講 専攻科オリエンテーション
28	土	
29	日	
30	月	本科・専攻科期末試験
31	火	本科・専攻科期末試験

8月

1	水	本科・専攻科期末試験
2	木	本科・専攻科期末試験
3	金	本科・専攻科期末試験 試験終了後HR大掃除 キャンパスツアー準備
4	土	(キャンパスツアー準備) 閉寮
5	日	キャンパスツアー
6	月	夏季休業(～9/17)
7	火	
8	水	
9	木	
10	金	
11	土	山の日
12	日	
13	月	
14	火	
15	水	
16	木	
17	金	
18	土	全国高専体育大会(陸上、サッカー)
19	日	全国高専体育大会(陸上、サッカー)
20	月	
21	火	全国高専体育大会(野球、サッカー、ハンドボール、テニス)
22	水	全国高専体育大会(野球、剣道、サッカー、ハンドボール、テニス)
23	木	全国高専体育大会(野球、剣道)
24	金	
25	土	全国高専体育大会(バレーボール、卓球、柔道、バトミントン)
26	日	全国高専体育大会(バレーボール、卓球、柔道、バトミントン)
27	月	
28	火	
29	水	全国高専体育大会(ソフトテニス)
30	木	全国高専体育大会(ソフトテニス)
31	金	

9月

1	土	全国高専体育大会(バスケットボール、水泳)
2	日	全国高専体育大会(バスケットボール、水泳)
3	月	
4	火	
5	水	
6	木	
7	金	
8	土	編入学試験
9	日	
10	月	
11	火	
12	水	
13	木	
14	金	
15	土	
16	日	開寮
17	月	敬老の日
18	火	
19	水	
20	木	
21	金	
22	土	
23	日	秋分の日
24	月	振り替え休日
25	火	(短縮授業) 月曜日の授業
26	水	学力強化期間
27	木	学力強化期間(4限目以降体育祭準備)
28	金	休講 体育祭(延期の場合は休業)
29	土	体育祭予備日
30	日	

平成30年度行事予定表 後期

10月		
1	月	後期授業開始
2	火	
3	水	防災訓練
4	木	
5	金	（キャンパスリサーチ準備）
6	土	キャンパスリサーチ
7	日	
8	月	体育の日
9	火	
10	水	放課後：専攻科インターンシップ報告会
11	木	
12	金	
13	土	
14	日	東海北陸地区ロボットコンテスト（石川高専）
15	月	
16	火	
17	水	（弁論大会の準備）
18	木	休講 午前：弁論大会 午後：高専祭準備・クリーン大作戦
19	金	休講 高専祭
20	土	高専祭 専攻科ホームカミングデー
21	日	高専祭
22	月	休講（高専祭片付け）午後：校外実習発表会
23	火	
24	水	
25	木	専攻科生校外発表（北陸技術交流テクノフェア）
26	金	専攻科生校外発表（北陸技術交流テクノフェア）
27	土	大学・大学院合同説明会 全国高専プロコン（阿南高専）
28	日	全国高専プロコン（阿南高専）
29	月	3年研修旅行
30	火	3年研修旅行
31	水	遠足（1,4年）校外研修（2年）3年研修旅行 交流会（5年） 専攻科交流会（1,2年）

11月		
1	木	3年研修旅行
2	金	3年研修旅行
3	土	文化の日
4	日	専攻科社会人特別選抜
5	月	
6	火	
7	水	
8	木	
9	金	
10	土	全国高専デザインコンペティション（釧路高専） 東海北陸地区英語プレコン（福井高専）
11	日	全国高専デザインコンペティション（釧路高専）
12	月	
13	火	
14	水	（特別短縮授業）クラッシックコンサート
15	木	在学生保護者対象授業参観
16	金	在学生保護者対象授業参観
17	土	保護者懇談会
18	日	
19	月	
20	火	
21	水	
22	木	
23	金	勤労感謝の日（予備日）
24	土	
25	日	全国高専ロボットコンテスト（両国国技館）
26	月	
27	火	金曜日の授業
28	水	後期中間学力確認週間（試験またはまとめ授業） （専攻科予備日）
29	木	後期中間学力確認週間（試験またはまとめ授業）
30	金	後期中間学力確認週間（試験またはまとめ授業）

12月		
1	土	
2	日	
3	月	後期中間学力確認週間（試験またはまとめ授業）
4	火	後期中間学力確認週間（試験またはまとめ授業）
5	水	後期中間学力確認週間（試験またはまとめ授業）
6	木	
7	金	
8	土	
9	日	
10	月	
11	火	
12	水	Jointフォーラム（予定）
13	木	
14	金	
15	土	
16	日	
17	月	
18	火	
19	水	授業終了後HR大掃除
20	木	
21	金	
22	土	閉寮
23	日	天皇誕生日
24	月	振替休日
25	火	冬季休業（～1/7）
26	水	
27	木	
28	金	
29	土	
30	日	
31	月	

1月		
1	火	元日
2	水	
3	木	
4	金	
5	土	
6	日	開寮
7	月	
8	火	授業開始 月曜日の授業
9	水	
10	木	
11	金	
12	土	
13	日	
14	月	成人の日
15	火	
16	水	放課後：校長表彰・校長講話
17	木	
18	金	
19	土	
20	日	推薦選抜検査日
21	月	
22	火	
23	水	放課後 専攻科特別研究Ⅱ発表会
24	木	短縮授業 放課後 専攻科特別研究Ⅰ発表会
25	金	
26	土	
27	日	（予備日）
28	月	
29	火	
30	水	
31	木	月曜日の授業

2月		
1	金	本科期末試験 専攻科1・2年期末試験
2	土	
3	日	
4	月	本科期末試験 専攻科1・2年期末試験
5	火	本科期末試験 専攻科1・2年期末試験
6	水	本科期末試験 専攻科1年期末試験
7	木	本科期末試験 専攻科1年期末試験
8	金	本科期末試験 専攻科1年期末試験
9	土	
10	日	
11	月	建国記念の日
12	火	
13	水	
14	木	専攻科2年休講
15	金	短縮授業 授業終了後HR大掃除 専攻科2年休講
16	土	
17	日	学力選抜検査日
18	月	休業
19	火	休業
20	水	専攻科2年休講 月曜日の授業
21	木	特別学習
22	金	特別学習
23	土	
24	日	
25	月	特別学習
26	火	特別学習
27	水	特別学習 本科5年卒研発表
28	木	休業 5年卒業研究 5年HR 達成度評価シート記入

3月		
1	金	休業 キャリア教育セミナー（予定）
2	土	閉寮
3	日	
4	月	休業
5	火	休業
6	水	休業
7	木	休業
8	金	休業
9	土	
10	日	
11	月	休業
12	火	休業
13	水	休業
14	木	休業
15	金	休業
16	土	
17	日	
18	月	休業
19	火	休業
20	水	卒業・修了式
21	木	春分の日
22	金	学年末休業（～3/31）
23	土	
24	日	
25	月	
26	火	
27	水	
28	木	
29	金	
30	土	
31	日	

平成29年度 学校行事

卒業・修了おめでとうございます！

本科5年生の皆さん、卒業おめでとうございます。専攻科2年生の皆さん、修了おめでとうございます。この佳き日を迎えられるのも、ひとえに保護者の皆様のご理解とご協力の賜物と深く感謝しております。



3月5日（月）県内外から多数の企業にご参加いただき、本科3・4年生、専攻科1年生を対象としたキャリア教育セミナーが本校で開催されました。



各企業ブースに分かれて、皆さん真剣に説明を聞いています。将来の進路を考える、良いきっかけになったのではないでしょうか。



卒業式典に先立ち、優秀学生賞伝達式、並びに学生表彰受賞者の表彰授与式が執り行われました。



3月19日（月）鯖江市文化センターにおいて、第49回卒業証書授与式並びに第19回修了証書授与式が、厳粛かつ盛大に挙行されました。



それぞれ別の道へ進むことになっても、福井高専の5年間で得た貴重な経験、仲間は一生の財産になることでしょう。皆さんのご活躍を期待しています。



式典終了後、会場へ駆けつけた在校生が卒業生・修了生へ花束を渡し、お世話になった先輩方との別れを惜しんでいました。



祝 卒業



編集後記

皆さんお気づきになったでしょうか？　今年度から、青武台だよりのデザインが一新されました。新デザインにするにあたり、先生方の写真を撮り直し（全て学校内で撮影しました。どこか分かるでしょうか？）、レイアウト調整など苦労することが多々ありました。次号以降も、より多くの方に読んで頂けるように頑張っていきたいと思います。今後とも宜しくお願い致します。（相場）

青武台だより

独立行政法人国立高等専門学校機構 福井工業高等専門学校
発行日：平成 30 年 4 月 5 日

お問い合わせ

福井工業高等専門学校
〒916-8507 福井県鯖江市下司町
TEL:0778-62-1111